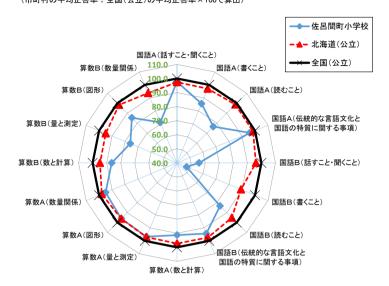
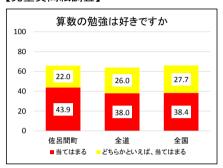
佐呂間町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:41名)

【教科全体の状況】

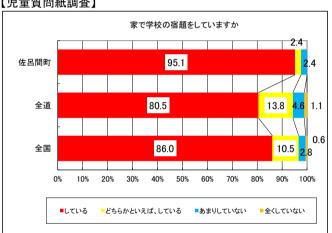
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



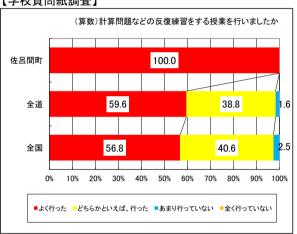
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	 ○ 国語Aの「話すこと・聞くこと」の領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率が、他の領域と比較すると高い傾向にある。特に、「漢字の読み書き」や「話し合いの観点に基づいて情報を関係付ける」力が全国との差が小さい。 ○ 算数A・Bともに、四則計算や図形の面積を求める問題、数量関係を記号を使って式に表す問題の理解度が他の領域と比較すると高い傾向にある。 	○ 各学校が、授業 どで計算問だ。 を繰り返し行うでは、「算数の勉き 考えらる基礎的で 技能の定える。 考えられる。
児童質問紙	○ 「家で学校の宿題をしていますか」という質問に、「している」と 回答した児童の割合が全道、全国よりも高い。	
	○ 「算数の勉強が好き」という質問に、「当てはまる」と回答した 児童の割合が全道、全国よりも高い。	
学校質問紙	○ 算数科において、「計算問題などの反復練習をする授業をよ く行った」と回答した学校の割合が、全道、全国よりも高い。	

業の中や宿題な などの反復練習 ことにより、児童 強が好き」という もに、算数科に 基本的な知識・ つながっていると

【佐呂間町の学力向上策】

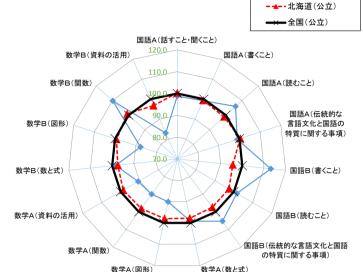
- ◎ 町費採用教員の配置による、ティームティーチング等のきめ細かな指導の充実
- 町内の教職員等で組織する「学カ向上推進委員会」を中心とした学カ調査の分析、家庭における学習習慣の確立、長期 休業中の学習サポートの実施等の効果的な取組の推進
- 学びの連続性を保障するための小学校・中学校・高等学校間の連携強化

■ 佐呂間町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:28名)

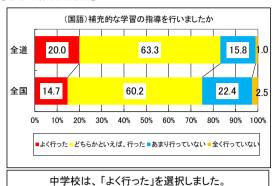
━━ 佐呂間町中学校

【教科全体の状況】

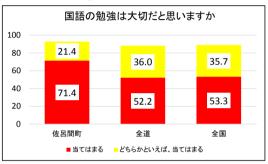
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの (市町村の平均正答率・全国(公立)の平均正答率×100で算出)



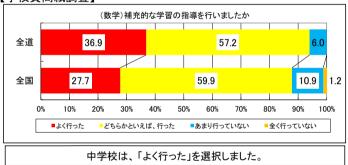
【学校質問紙調査】



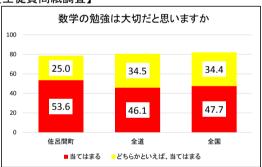
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

	教科	0	国語A・Bの「読むこと」領域、及び国語Bの「書くこと」領域の 平均正答率が全国平均を上回っている。	
		0	数学では、A問題・B問題ともに、「数と式」領域の四則計算や 文字式の計算、方程式の理解度が他の領域と比較すると高 い傾向にある。	
	生徒質問紙	0	「国語の勉強は大切だと思う」という質問に、「当てはまる」「ど ちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が全道、 全国よりも高い。	
		0	「数学の勉強は大切だと思う」という質問に、「当てはまる」と 回答した生徒が全道、全国よりも高い。	
	学校質問紙	0	国語科及び数学科において、補充的な学習を充実させている。	

- 学校において補充的な学習を充実させたことにより、国語科の各領域において、全国平均と同等あるいは全国平均を上回るとともに、数学科においては、A・Bともに数と式領域において全国平均と同等の結果であり、数学Bの(関数)では、全国平均を上回る結果となった。
- その結果、「国語・数学の勉強が大切だと思う」と回答した生徒が全国平均を上回り、学習意欲の向上につながっていると考えられる。

【佐呂間町の学力向上策】

- ◎ 町費採用教員の配置による、ティームティーチング等のきめ細かな指導の充実
- ◎ 町内の教職員等で組織する「学力向上推進委員会」を中心とした学力調査の分析、家庭における学習習慣の確立、長期休業中の学習サポートの実施等の効果的な取組の推進
- ◎ 学びの連続性を保障するための小学校・中学校・高等学校間の連携強化